



笠間人車軌道

2019年
11月号
不定期刊行

2019年11月24日(日)は

笠間人車軌道の始創は
大正4年11月22日
ですが「人車の日」は
自らの日曜日とします

人車の日

勝手に決めました



原寸大の試作車両は
2014年に製作し、
2015年11月22日に
開業100年記念の
運行を行いました。
今回は当時と同様の
材料を使用し、
復元した車両です。
※試作車両は軌に2×4
を使用しました。

スケジュール 24日

◎午前9時～ 車両の搬送(レド?)

◇笠間駅前(東屋商店馬場)を出発
道路養生のため、7.4mのレール3本を糸鋸返し敷き、
車両を手押しして搬送します。【ある意味「無限軌道」が
作られ、当時の人車軌道の風景を再現します】



◎午後1時～3時30分 人車完成おひらめと関連イベント

【同時開催：第五回 行幸町防災フェスタ】

11月24日当日、レール系多量作業を
手伝ってくださる方 募集中です。
楽しい作業?になる予定。
問合せは、事務局・藤本まで

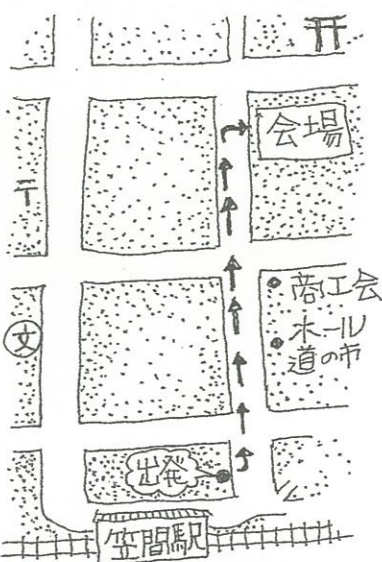
笠間人車軌道とは

笠間人車軌道は、笠間稻荷神社への参拝客を運ぶため、大正4年
から大正14年までの間、水戸線笠間駅から笠間稻荷神社付近
までの約1.4kmの区間を走っていました。最盛期には年間15万人
を運んでいたと記金録にあります。

人車軌道とは、モーターやエンジンなどの重カを用いずに、車夫がレール
の上の車両を押し、重カが鉄道のことで、笠間では一人の車夫が
8人乗りの小さな客車を押ししました。

※京成電気軌道の開通により不用になった、帝釈人車鉄道の人車は
笠間人車軌道で再利用された。

大正14年には社名を笠間稻荷軌道と改称し2台のガソリン
木炭機関車を購入している。廃車となった人車のうち4両は大正11年に
開業した宮城県松山人車軌道に使用された。



笠間人車軌道復元プロジェクトとは

ハンドメイドフェア道の市の参加者スタッフと駅前通り沿線
で育った有志により結成されました。

形としてのイベント道の市は終了しましたが、手作りを楽しむ米青神は続きます。

主催 笠間人車軌道復元プロジェクト実行委員会・事務局 藤本 090-3548-2597

協力者 大崎市(資料提供) 鈴木好吉(木材提供) 関本文男(レール提供)
(公財)資源環境センター高取事業所・高取金山(レール提供)